

成果指標 6. 地域内連絡道路安心すれ違い率

県内にはまだまだ、幅員が狭く見通しの悪い道路が多くあり、日常生活に密着した道路では、安心してすれ違いができることが求められています。このため、安心してすれ違いのできることを成果指標として、地域内連絡道路における整備済み延長の割合を採用しています。

$$\text{地域内連絡道路安心すれ違い率} = \frac{\text{安心すれ違い確保の整備が行われた延長}}{\text{地域内連絡道路の総延長}}$$

* 対象路線：地域内連絡の役割を担う道路（県道）約 1267km。ダブルラダー路線や地域連携道路、観光周遊道路は、既に他の成果指標の評価対象としているため、対象道路から除きます。

* 整備が行われた延長とは、幅員が 5.0m 以上確保（1.5 車線の整備延長も加味する）されている道路の延長

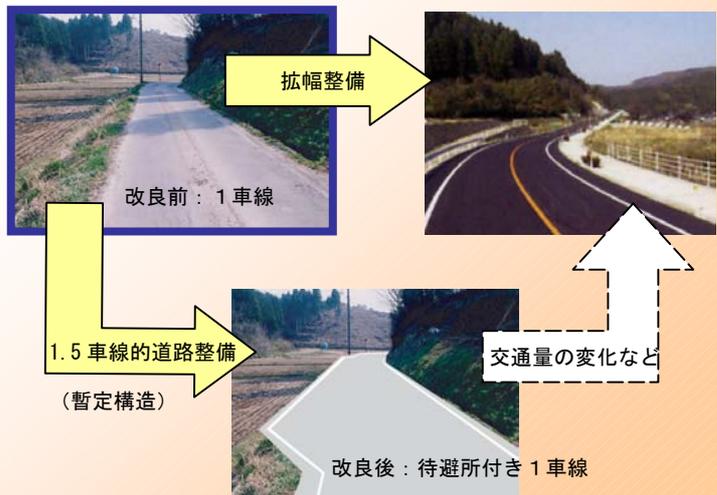
* 1.5 車線の整備延長とは、交通量が少ない 1 車線道路において、待避所の設置やカーブ部分の見通し改善等により、安心してすれ違いながら走行できる道路の延長

成果に向けた取組み

■ 生活に密着した地域内連絡道路の安全性の水準向上

生活に密着した地域内連絡道路の安全性の水準を上げるため、拡幅整備やローカルルールによる 1.5 車線の道路整備*などにより、自動車が安心してすれ違うことのできる道路確保を目指します。

ローカルルールの導入：例えば、交通量の少ない地方部の道路なら…



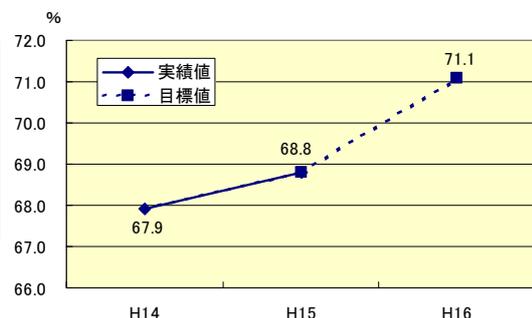
※ローカルルールによる 1.5 車線の整備；待避所の設置やカーブ部分の見通しの改善等、緊急性を有する部分の解消による底上げ（ボトムアップ）を図るとともに、交通量の変化などにもなう段階的水準の切り上げ（ステップアップ）を図る整備

成果指標の動向

■ 地域内連絡道路安心すれ違い率は、平成 14 年度の 67.9%（853.6km）から、平成 15 年度の 68.8%（864.7km）へと 0.9%（11.1km）増加し、目標を概ね達成しました。

■ 平成 16 年度は、1.5 車線の整備の本格導入により、平成 14 年度実績から 3.2%（47.1km）の増加を目標とします。

平成 14 年度の実績		67.9% (853.6km)
平成 15 年度	計画	68.8% (865.5km)
	実績	68.8% (864.7km)
平成 16 年度の目標		71.1% (900.7km)



達成度報告（平成 15 年度の成果）

■ 平成 15 年度に供用した主な箇所

路線名	区間	延長	整備内容
①(主) 珠洲里線	輪島市鈴屋～ 珠洲市若山町上山	0.5km	1.5 車線の整備
②(一) 滝又三井線	輪島市空熊 <small>そらぐま</small>	0.2km	拡幅(1→2 車線)
③(一) 熊坂今出線	加賀市熊坂～大聖寺錦	0.3km	拡幅(1→2 車線)
④(一) 芝原石引町線	金沢市田上町	0.5km	拡幅(1→2 車線)
⑤(一) 津波倉寺井線	小松市三谷	0.4km	拡幅(1→2 車線)
⑥(一) 池田江崎線	門前町中田	0.4km	拡幅(1→2 車線)

①(主) 珠洲里線



⑥(一) 池田江崎線



⑤(一) 津波倉寺井線



②(一) 滝又三井線



③(一) 熊坂今出線



④(一) 芝原石引町線



<金沢市周辺拡大図>



VOICE（利用者の声）

地元住民の安全面だけでなく、観光産業にとっても大きなプラスに

(主) おおたにのろしいだせん 大谷狼煙飯田線みちづくり協議会委員長 茅山 一男氏

当路線は、能登半島の自然景観豊かな海岸線を走る道路であり、多くの観光客が利用しています。しかし、車同士のすれ違いが難しく、また大型化された観光バスの通行が困難なため、バスの運転手からは当路線は危険だという声も挙がっており、能登半島観光に重大な支障となっていました。

しかしながら、これまでに大型車同士が交差できなかった箇所から順次、待避所が設置されたため、鉢合わせによる広い部分までのバックや、車同士の交差による待ち時間が短くなり、物資の流れもスムーズになりました。運転手にとっても地元住民にとってもイライラの原因が解消されたことで、安全面にも多大な効果がありました。

(平成 15 年 6 月「道路ニュース」より抜粋)

業績計画（平成 16 年度の取組み）

■ 平成 16 年度に供用を予定している主な箇所

路線名	区間	延長	整備内容
①(主) 輪島富来線	輪島市二俣 ^{そらくま} ～空熊	2.3km	1.5車線の整備
②(主) 能都穴水線	穴水町比良～能都町鶴川	3.7km	1.5車線の整備
③(主) 丸山加賀線	小松市大杉上	0.6km	1.5車線の整備
④(一) 羽咋田鶴浜線	志賀町安津見	0.4km	拡幅(1→2車線)
⑤(一) 八田南森本線	金沢市南森本	0.5km	拡幅

④(一) 羽咋田鶴浜線



①

②(主) 能都穴水線



<金沢市周辺拡大図>



⑤(一) 八田南森本線



③(主) 丸山加賀線



地域住民と共に進めるみちづくり

● 1.5車線の道路整備

石川県では、生活に密着した地域内連絡道路の走行性・安全性の水準を上げるため、ローカルルールによる1.5車線の道路整備を進めています。

1.5車線の道路整備を進めるにあたっては、整備の内容や整備箇所の優先順位等を地元住民のみなさんと協議しながら進めています。

